

まるさん通信

Vol. **01**
2022.8

気軽に相談できる不動産屋「丸三」が、
不動産にまつわる情報をお届けします



RENEWAL

これまで資産にまつわる情報
をお伝えしてきたVol.7から
リニューアル。よりパワーアップ
して皆様のお役にたつ情報をお
伝えしていきます！

CONTENTS

01.Column 不動産を知ろう
株式会社丸三について

02.丸三TALK
スタッフインタビュー

03.丸三からのお便り~1通目~
スタッフ自己紹介

04.ご縁のあるエピソード
丸三の歴史をつなぐ応接室

● 最新物件情報 ● 丸三NEWS

不動産を知ろう

不動産にまつわるアレコレを詳しくご紹介、ご説明していきます。

皆様への感謝と丸三の歴史

皆様。大変お世話になっております。
株式会社丸三の和田崇です。

このような形で会社のニュースレターを発行できるに至るまで本当に数多くのお客様のお力添えがあつてのことであると思っております。皆様の日々のご声援ご協力本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

今回はニュースレター「まるさん通信」の記念すべきリニューアル第一回目ということで、丸三の歴史をご案内したいと思います。

昭和44年。創業者で会長である父の和田晃は、当時、東京駅の八重洲地下街の

レストランで働いていたそうです。その関係で調理師免許を取得するために東京都庁を訪れた際に、宅地建物取引主任者(現取引士)の試験願書を見つけ、何の気なく受験をしたそうです。どちらも無事合格しました。調理師の資格取得後、レストラン経営をして独立しようと考え、当時私の祖父である和田敏治が所有していた土地(現事務所のある場所)にレストランの建築を考えるも、その時代の「三ツ境」駅では人口が少なすぎるとのことで断念したそうです。

宅建の資格があるなら不動産業者はどうかと思い不動産業を創業。地元であ

ること、祖父和田敏治が元教師、当時は三ツ境郵便局局長であったことから地元にはお客様がたくさんいてくださいました。このニュースレターを拝読して下さっているお客様の中にも祖父、和田敏治(和田先生)のことを覚えていてくださる方も多いのではないのでしょうか。おかげさまで祖父、父、私と3代でお世話になっていることになりましたね。

丸三の社名は和田家の家紋からとったそうです。創業時の社名は「丸三商事不動産」でしたが、平成4年に株式会社化し「株式会社丸三」として宅建業の免許を再取得いたしました。



代表取締役

和田 崇 Takashi Wada

【出身】横浜市旭区

【保有資格】

宅地建物取引士、
公認不動産コンサルティング
マスター、相続対策専門士、
賃貸不動産経営管理士

創業当時は、当然仕事など何もなく、ただお店を開けておくという開店休業の日々が続いたようです。前面道路の厚木街道もまだ砂利道で砂埃が酷かったと聞いています。当時は、まだまだ住宅が足りず貸家の賃料で月額7,000円前後。新築の一戸建てで500万円前後だったそうです。当時は、不動産業を営む傍ら、電話の権利、タバコ、お菓子、雑誌、さまざまなものを売っておりました(今でいう多角経営ですね)。昭和58年1月に建替えた現在の事務所の一角にも当時はタバコやお菓子売るスペースがございました。(写真参照)

私も、タバコ屋の店番を祖母が手伝っていたことや、父である会長が18時に不動産屋を閉めた後、夜21時までタバコ屋の店番していたこと、私がお店のお菓子を勝手に食べて怒られたことなど、当時のことをよく覚えております。そして、私がこの会社に入社したのが、平成14年4月。そこから父親である現会長に指導を頂き、おかげさまで社長の仕事を任せただけのまでに成長できました。入社してからの20年を振り返ると様々なお取引を通して、それぞれのお客様の人生の岐路でお手伝いできたことに感謝の気持ちがた

だただあるばかりです。弊社HP内の「ご縁のあるエピソード」に掲載させていただいているような、なかなか巡り合えない取引を数多くお手伝いさせていただきました。

時には苦しい時期もありましたが、私たちを支えてくださったのは日々お付き合いくださるお客様との関係です。これからも社員一同力を合わせて様々な困難を乗り越え頑張ってまいります。この先も丸三はまだ成長していきます。皆様とこの街の変化を見届けながら。



上)旧事務所:昭和53年9月撮影
下)現事務所:昭和59年5月撮影

代表取締役 和田 崇

「丸三に行けば何とかなる」と思ってほしい

和田:丸三ってどんなイメージを持たれてると思う？

横山:ザ・地元の不動産屋という感じだと思います。地元ならではの情報を持っている、みたいな。

柴田:あとは三ツ境の街中に丸三の看板があるので、名前をよく見かける会社というイメージですかね。

越野:確かに看板の存在は大きいですね。いかにもな地元の不動産屋って、知らないとかどと入りにくいじゃないですか。でもいつも近所の看板で見ている会社だから、という安心感はあると思います。

和田:なるほどね。実際にお客様と話して感じたことは？

越野:賃貸・売買・駐車場と仕事の幅が広いので、何でも相談できる不動産屋として頼っていただいていると感じます。

柴田:「丸三に行けば何とかなる」という感覚のお客様が多いのは嬉しいですね！

バリューブックが自身の役割を自覚するきっかけに

和田:最近バリューブック※1をつくったけど、その中の項目で皆が心がけていることは？

越野:僕は「現場100遍」を大切にしています。地元だからこそ、分かったつもりで疎かにしていたな

と。実際に足を運んでみると、色々気づきがありました。

横山:僕は「お客様満足度」です。売上や利益は自分たちの都合だから、それよりもお客様にとって最善の策は何なのかを追求したいです。

柴田:私からはバリューブック以外で、自分が心がけていることをお話ししてもいいですか？

和田:もちろん！

柴田:私は、お客様との関係性は最初が肝心だと思うんです。私の担当する窓口がまさにその入口で、ここで信頼関係を作ってから、次の担当者にバトンを渡そうと思っています。いいパスを出せるよう



※1:「バリューブック」とは企業理念や価値観などをまとめた冊子です。社員全員が自社の理念を理解し、サービス向上にむけた行動指針の実践に役立てています。

丸三 From MARUSAN MEMBERS TALK

丸三に縁のある皆様に、不動産や住まいに関するお話をうかがっていきます。

記念すべき第一回は、

丸三のスタッフインタビューをお届けします。



上段) 左: 和田 崇 右: 越野 朋幸 下段) 左: 横山 徹 右: 柴田 文子



に、まずは笑顔でお出迎えなどを徹底しています。

越野:柴田さんみたいに、各自が自分の役割について考える機会にもなったと思います。バリューブックをつくるために、丸三のアイデンティティって何かを真剣に話し合っ、共有ができました。

和田:つくる過程も含めて、皆の拠り所になるものができたんだね。

丸三は不動産屋らしくないアットホームな会社

和田:印象に残ってる丸三での思い出ってある？

柴田:面接で初めて会社に来たとき、まるで自分のおばあちゃんの家みたいな印象が強烈でした。(笑) いい意味でアットホームということなんですけど。

和田:(笑)。うちの事務所ではよく

馴染みのお客様と世間話をしてたりするから、どうしてもそうなるよね。

横山:僕は社長とは大学の同期ですけど、久しぶりに会ったときにすごく真面目になって驚きました。

越野:社長の実直さとか家庭的な雰囲気が、丸三らしさを形作ってる感じがしますよね。

目指すは不動産のゼネラリスト兼スペシャリスト

和田:皆はこれからの丸三をどうしていきたい？

越野:今はお客様も社長を頼って訪れる方が多いので、もっと自分たちが頑張っていかなければと思っています。

柴田:そのためには社長とご縁のあるお客様に、私たち社員も信頼してもらえるように努力するのが一番ですね！

横山:僕は不動産の何でも屋でありつつ、賃貸専門などの会社と同じ知識量・ノウハウを目指していきたいです。丸三に相談すれば間違いのないと言われる会社を目指します！

次回予告

不動産には欠かせない法律
やお金の管理の専門家
お話をうかがいます。

丸三からの 1 通目 お便り

丸三のスタッフが、それぞれが得意な分野の情報をお届けしていきます。
まずは改めて自己紹介から。こんなことが聞いてみたいなどのご意見もぜひお寄せください！



大手不動産仲介業者を経て平成14年4月に丸三に入社し、お陰様で20年が経過しました。賃貸・売買・駐車場・管理はもとより相続などの様々なご相談の窓口をしております。不動産に関することなら何なりとご相談ください。

代表取締役 **和田 崇**
横浜市旭区出身

信用金庫・大手不動産仲介会社を経て丸三に入社。不動産売買の経験は20年近くあります。ご縁を大切に、末永いお付き合いのために一生懸命努めております。些細なご相談もお気軽に申しつけてください。



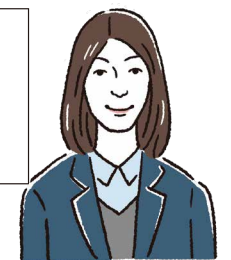
不動産売買業務 **越野 朋幸**
横浜市中区出身



賃貸担当の横山です。セキュリティが充実、設備にこだわりたい、大切なペットと一緒になど、お客様のご要望は様々。まずはお話をしっかりとかがいながら、安心してお住まいになれるお部屋探しのお手伝いをいたします。

不動産賃貸業務 **横山 徹**
茨城県出身

主に駐車場関係や更新業務などを行いながら、事務所の窓口でお客様をお迎えしています。皆様のより良い暮らしのお手伝いできれば幸いです。お話しも好きなので気兼ねなくお声がけください！



不動産サポート業務 **柴田 文子**
茅ヶ崎市出身



ご縁のあるエピソード

地元・三ツ境と共に歩んできた半世紀の中で
めぐり逢った素敵なエピソードをご紹介します。

EPISODE in1979年 **丸三の歴史をつなぐ応接室**

今回は、皆さんと打合せする「大きな机といす」のお話です。
昭和54年。家具屋さんにお勤めのK様が、家族4人で住む家を三ツ境で購入して頂いたことをご縁に長いお付き合いが始まります。それから数年後の平成10年。丸三に新しい従業員が入ることとなり、「せっかくだから内装を新しくしたい」と当時の社長（現会長）は考え、K様にお願いすることに。内装から家具まで全てをコーディネートしていただき「机といす」は今でも当社の看板となる家具。事務所もリニューアルし、丸三の業務は続きます。

時は流れ平成30年。丸三は世代交代の時期を迎え、新たな従業員も採用することに。「せっかくだから内装を新しくしたい。」と父である会長と同様、現社長も考えました。そんな時、K様がふらっと来店されます。「子供も独立し、妻も亡くなり…。子供の世話になることにして家を売ろうと思って。」今後の予定を伝えに来てくださったのですが、内装を変えようとしていた時だったので本当



に驚きました。「今K様ご来店されるなんて不思議なご縁ですね。」と社長が話すと「内装はいずれ傷むものだから気にしないで。自宅の売却時期が決まったらまた来ますね。」とK様。その後、事務所もリニューアルし、丸三の業務は続きます。

更に時は流れ令和3年。K様が50代になるお子様と来店され、思い出の「大きな机と椅子」で相談は始まります。「自宅を売ることにします。」建物は残念ながら取り壊しをせざるを得ない状態で家財の処分も必要でした。お世話になったK様のために当社で買い取りをしたいと伝え、全てをらせていただくことになりました。

そして、令和4年6月。K様のお住まいがあった場所に建築された新築住宅。家具のつながりでできたご縁なので、その家は家具付きで売ることといたしました。残念ながら三ツ境を離れてしまわれたK様ですが、選んでいただいた「机といす」が丸三と共にご縁をつないでいきます。

最新物件情報

HONOVO ニツ橋町 | 3LDK・2階建て 4,680万円(税込)



- 所在/横浜市瀬谷区ニツ橋町71番(以下未定)
- 交通/相鉄線「三ツ境」駅徒歩12分 ●敷地面積/100.16㎡(30.29坪) ●延床面積/79.29㎡(約23.98坪) ●接道状況/北側4m公道 ●完成時期/令和4年2月 ●引渡し/相談 ●建築確認番号/第21KAK建確02701号(令和3年9月3日) ●検査済証/第21KAK建済03837号(令和3年12月21日) ●建築基準法53条の2第1項第3号による許可番号/横浜市建市街指令第1086号(令和3年9月1日) ●取引態様/売主 ●情報公開日/令和4年8月1日

HONOVO 阿久和西 | 1LDK+S・2階建て 3,550万円(税込)

- 所在/横浜市瀬谷区阿久和西二丁目20番8
- 交通/相鉄線「三ツ境」駅徒歩20分、相鉄線「希望ヶ丘」駅徒歩24分 ●敷地面積/75.83㎡(22.93坪) ●延床面積/77.67㎡(約23.49坪) ●車庫その他部分18.16㎡含 ●接道状況/南側約4.0m公道、西側約4.0m公道に接道 ●完成時期/令和4年6月 ●引渡し/相談 ●建築確認番号/第21KAK建確05054号(令和4年1月27日) ●検査済証/第22KAK建済01066号(令和4年6月9日) ●取引態様/売主 ●情報公開日/令和4年8月1日



※LDK: 寝室の家具を販売価格に含みます。

LINE 公式アカウント
始めました



お気軽にお友達追加してください。

丸三NEWS



いつでも情報発信「サイネージ」

店頭にはサイネージという電子看板を設置して、色々な情報発信を行っています。丸三のことを知っていただける内容から新しい物件情報などを更新しています。お近くにいらした際は、ぜひご覧になってください。



お問い合わせはこちら

TEL:045-363-0003

FAX: 045-391-0303

ホームページも
ご覧ください



クチコミ投稿に
ご協力ください

